

■新年の始まりにあたって ～地域の安全・安心を目指して～

新年明けましておめでとうございます。昨年も異常気象の影響か、ゲリラ豪雨や巨大台風が日本各地を襲い、東北・関東・近畿・中国地方等において大規模な浸水被害が発生。また、伊豆大島においても土砂災害等が発生し、尊い命が失われております。

昨年、当管内の大垣市においても、観測史上最高となる1時間108mm(気象庁)という猛烈な雨が降り、一時、杭瀬川では、氾濫に対する警戒が必要な水位(避難判断水位:レベル3)に迫る出水となりましたが、幸いにも甚大な災害までには至りませんでした。「災害は忘れた頃にやってくる・・・」という言葉があるとおり、今年も気を引き締めて、地域の安全・安心の確保に向けて、地域住民の方々と連携して取り組む所存です。今年も宜しくお願い致します。

揖斐川第二出張所長 細野 貴司



平成26年1月1日

川楽板かわらばん

～いび・くいせ～
大曾川上流河川事務所 揖斐川第二出張所

安八町及び輪之内町役場ホームページのトップ画面上にある、上記、バナーをクリックしていただくと、直接、当出張所のホームページへ繋がるようになりました。概ね月に1回の頻度で、川に係わる様々な最新情報を定期的に発信しています。

また、大垣市ホームページについては、「リンク集」からアクセスして下さい。

■好天に恵まれた昨秋の一日、杭瀬川堤防において、子供たちの大歓声が広がる!



H25.10.28 日新幼保園

暑さも一段落し、涼やかな風が心地よく感じられた昨秋、杭瀬川堤防において、日新幼保園(大垣市入方)の園児、及び、大垣特別支援学校(大垣市西大外羽)の児童らが堤防の斜面を利用した「堤防すべり」で遊びました。堤防すべりは、段ボールや米袋、段ボールを繋ぎ合わせた滑り台で、一気に堤防法面を滑り落ちる遊びです。初めは、怖くてなかなか滑れなかった子ども、何度も挑戦しているうちに滑り方のコツを体で覚え、上手にスピードに乗って滑れるようになってきました。「キャー、おもしろい!」「ワーイ、速いよ!」などと、子供たちの元気な大歓声が、静かな田園地帯に広がっていました。



H25.10.23 日新幼保園



H25.9.19 大垣特別支援学校

【出張所コメント】

- 川は、都市部に残された貴重な自然空間です。安全に楽しく遊んでいただきたいと思います。

■『ワクワク、ドキドキ』 重機の乗車体験!

揖斐川の堤防工事現場において現場見学会を開催し、養北小学校(養老町飯田)の児童が参加し、建設重機の乗車体験などを楽しみました。児童らは、バックホウの運転席に乗り込み、走行用レバーを動かしたり、燃料表示モニターに興味津々な表情で眺めながら、運転手気分を味わいました。【企画協力:(株)佐竹組】



H25.11.8 養北小学校



じどう車くらべ

「ヨベルカーは、土をほるしごとをしています。そのために、じょうぶなうでがなくてはいけません。すぐ上下が動いたりできるようなになっています。」

■高校生、『最新の土木施工技術学ぶ!』

揖斐川の堤防工事現場において、大垣工業高校(大垣市南若森町)の生徒を対象とした現場見学会を開催し、河川改修工事の目的や最先端の工法などについて学んでいただきました。生徒達は、計測データを自動記録する測量機器を用いて距離や角度を調べる測量実習や、コンピューターで制御された大型掘削機の操作などを見学しました。【企画協力:(株)神野産業】



【企画協力:(株)神野産業】

H25.11.26 大垣工業高校建設工学科



■洪水、台風、地震、津波等による巨大災害に備えて
 ~地方自治体と連携した防災力の強化を目指して~

水郷地帯の町「安八町」と治水事業について熱い議論!

昨年11月12日(火)、木曾川上流河川事務所は、安八町役場において、堀町長をはじめとする町幹部職員らと、揖斐川・長良川における、今後の治水事業について意見交換を行いました。安八町長より、「安八町は、昔から水との戦いの地域である。最近も各地で集中豪雨が頻発しており、町としても防災体制に万全を期していきたい」と挨拶があり、特に揖斐川における護岸整備や河川敷の樹木伐採について早期整備の要望がありました。



意見交換会の開催状況(安八町役場)

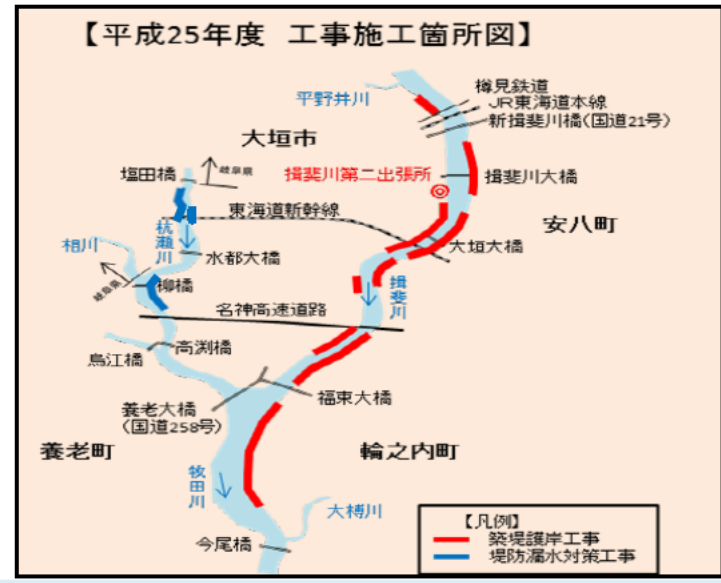
福束排水機場「新技術のポンプ」 輪之内町が視察!

昨年12月3日(火)、木曾川上流河川事務所は、福束排水機場(養老町大巻)のポンプ増設工事の現場見学会を開催しました。見学会では、木野町長をはじめ、36名の町内関係者の方々が参加し、増設ポンプの概要を紹介した後、ポンプの他、原動機の冷却用水用熱交換器などを見学していただきました。



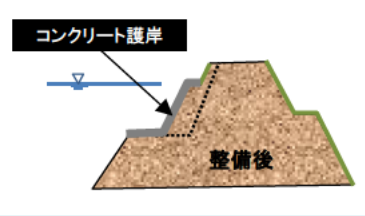
今回増設する4台目のポンプは来年3月に完成し、排水量は現在の約18m³/sから約26m³/sに向上することになります。また、増設ポンプはステンレス製で耐食性が向上するとともに、従来より軽量化しメンテナンスが容易となった「製缶製」という新技術を採用することで、施設の長寿命化を図ります。

■揖斐川・杭瀬川における堤防補強工事
 急ピッチで進む! (約13Km区間)



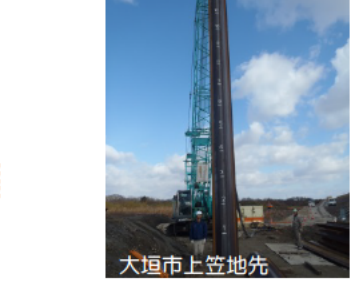
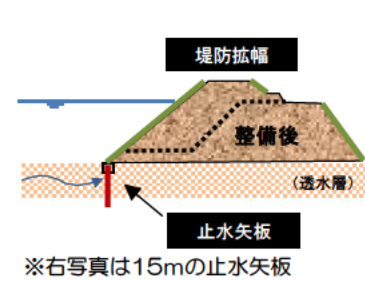
【揖斐川】

堤防法面にコンクリート護岸を張るための築堤工事は、昨年12月末までに概ね7割程度が施工済みです。1月以降は、築堤が完了した区間から、順次、コンクリート護岸を張っていく予定です。



【杭瀬川】

基盤漏水対策として、川表側に打設する止水矢板(矢板長:6~15m、施工延長約1km)については、昨年12月末までに施工済みです。1月以降は、堤防拡幅等の工事を施工する予定です。



豆知識

現在、揖斐川・杭瀬川の河川工事現場では、多くの建設重機と職人さんたちが働いています。その中で、今回、「建設重機の名前の由来」についてご紹介します。

【クレーン車】 巨大なものや重いものを吊り上げて運ぶ機械

「鶴」を英語で「Crane: クレーン」と言います。機械の動きや形が鶴に似ていることから名付けられたと言われてます。



【ブルドーザ】 土砂の盛土や整地に用いる機械

ブルドーザが登場するまでは、土地の整地は牛が活躍していました。そこに、ブルドーザが登場し、牛の仕事がなくなり、暇になった事に転じて、「牛(Bull)を眠らせる(Done)車」と名付けられたと言われています。

